

主催 北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会

東京

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 講演会のお知らせ

日時

2023年 (予約不要・参加無料)

3月25日 土 13:30-16:30 (13:00開場)

人権ライブラリー多目的ホール 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4F

電話番号 03-5777-1919 最寄り駅：JR山手線・京浜東北線浜松町駅南口から徒歩8分。

都営地下鉄三田線芝公園駅A3出口徒歩4分。同大江戸線・浅草線大門駅 A3出口徒歩5分。

13:30～16:30

演題

『北朝鮮の最新情勢 ～北朝鮮の核ミサイル開発阻止と人権解放は切り離せない～』

相次ぐミサイル発射実験の背後で進行する餓死情報。閉鎖国家北朝鮮と韓国の最新情勢について、脱北帰国者の木下理事が2時間にわたって語る。

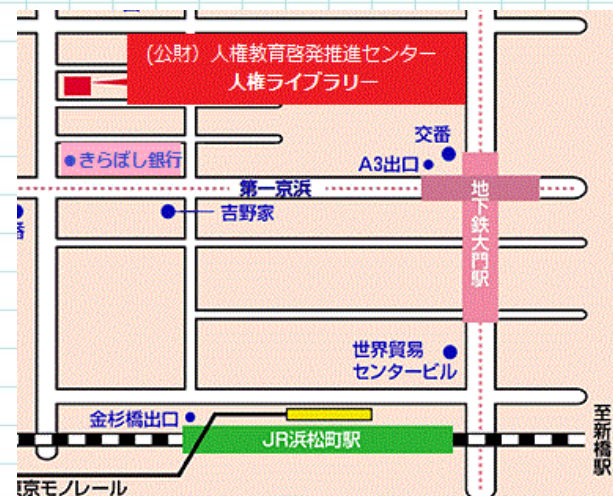
- 日韓関係のもつれた糸を説く—炭鉱地帯に追われた知識人と元教会地下の図書館で学んだこと 日本統治時代、朝鮮が被害にあったり、略奪ばかりされたりしたのか？
- 北朝鮮の政治軍事動向と飢餓線上で生きる北の人々の最新動向。この悲惨さから人々を救おう！
- 核ミサイル問題よりも、人権侵害の解決のための活動が最優先課題
- 北朝鮮の赤化統一工作は今も続く。金正恩打倒以前に韓国政府・野党・労組内のスパイ組織摘発を

講師：木下公勝 北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会理事

略歴：1945年（昭和20年）2月、石川県出身。1960年（昭和35年）、加賀市立錦城高1年時に、両親ら家族7人で帰国事業により北朝鮮に渡った。咸鏡北道の炭鉱で鉱夫や旋盤工を務め、追放されてきた学者や芸術家らと親交を結び、多くの知識を学んだ。後に社会安全部所属の作業員となり、政治犯収容所の解体工事などに従事した。両親の墓を無残につぶす非道なやり方に我慢できず、2004年（平成16年）に家族を残し中国へ脱北。2007年（平成19年）5月、日本に帰国。著書『北の喜怒哀楽 45年間に北朝鮮で暮らして』（高木書房）。



<会場MAP>



北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 事務局

〒102-0093 東京都千代田区永田町1-5-7-203

TEL/FAX:072-990-2887

E-Mail: kalmegi@gmail.com

携帯:090-5344-3070 (佐伯)

お問い合わせ